

令和元年度第5回理事会議事概要

日 時 : 令和元年8月9日(金) 16:45～17:20

場 所 : 森林整備センター役員会議室(川崎市)

出席者	理事長	沢田 治雄
	理事(企画・総務・森林保険担当)	柳田真一郎
	理事(研究担当)	坪山 良夫
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	上 練三
	理事(森林業務担当)	猪島 康浩
	理事(法令遵守担当)	井田 裕之
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	吉野 示右
	総括審議役	高橋 和宏
	総括審議役	石原 聡
	企画部長	河原 孝行
	総務部長	永山 正一

1. 開会

(吉野総括審議役)

令和元年度第5回理事会を開催いたします。

林木育種センターの合田審議役が諸事情により欠席となっています。

本日は報告事項が5件です。それでは順次、説明をお願いいたします。

2. 議事

I-1 平成30事業年度財務諸表等の承認について

(永山総務部長)

前回の第4回理事会において報告いたしました「通則法第38条に基づく大臣提出資料について」は、先般、農林水産大臣から承認の通知がまいりましたのでご報告させていただきます。

I-2 令和2年4月期 森林総合研究所における職員の採用について

(永山総務部長)

令和2年4月期の職員採用について、資料に記載されている日程で進めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

I-3 障害者の雇用状況について（報告）（一部非公開）

(永山総務部長)

「障害者の雇用の促進等に関する法律」において、従業員数40名以上の国・地方公共団体の事業主は、その雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が一定率（法定雇用率）以上になるよう義務づけられております。

当機構（国・地方公共団体等に分類）の法定雇用率は2.5％であるのに対しまして、実績として本年6月1日時点（法に基づく報告日）での雇用率は2.67％となっております。このため、法に基づく基準は満たしているところでございますが、引き続き障害者の雇用促進に各センターのご努力の方をお願いいたします。

（添付資料は非公開）

I-4 厚生労働省「女性の活躍推進企業データベース」の掲載データの更新について (河原企画部長)

ダイバシティー推進室では、令和元年7月9日に、厚生労働省「女性の活躍推進企業データベース」の中で当機構が公開しているデータを更新しましたので、お知らせします。次をめぐっていただくと、女性の活躍推進企業データベースのトップページがあります。各種データベースとして、当法人の情報が掲載されています。実際に掲載されて

いるものは細かい表で見にくいものだったことから、エクセル表にまとめてみました。番号がとびとびになっていますが、項目の中で記載しなくても良い部分もありますので、当法人が取り上げて記載している部分があるため、番号がとびとびになっているところ

です。
採用した労働者に占める女性労働者の割合については、昨年度比に比べると研究職員の割合が減っているのですが、採用する職員の数のばらつきがあるので仕方ないのかなと思われ

ます。
労働者に占める女性労働者の割合については、女性研究者の比率を17%に設定しているため、もう少し頑張っていかなければならないのかなと思っています。

男女別の育児休業取得率については、昨年度の男性職員の取得率が5.9%だったので、非常に高い数値となりました。目標は10%となっていますが、計画期間の平均としてカウントされるということなので、引き続き男性の育児休業取得率が高くなるよう維持して、平均しても10%を超えるような形で努力していく必要があると思います。

管理職に占める女性労働者の割合については、目標が7%となっていることから、目標を達成するためには3人だとちょっと足りない、4人だと十分足りるということなので、4人ぐらい管理職が増えると、目標が達成できることになります。

役員に占める女性の割合については、昨年と同じになっています。

このような形で更新しています。それぞれの目標が達成されますと、「えるぼし」というものが貰えることになるのですが、外部資金の審査において有利に働くことになるので、ぜひこの目標到達に向けて頑張っていきたいと思いますので、ご協力お願いいたします。

(鈴木監事)

17番に記載があるところで、管理職に相当する森林総研の職位に占める女性の比率についてと、管理職に占める女性労働者の割合については機構全体の数字だと思うのですが、各部門ごとの数字があると良いのではないかと思います。それがあれば、あと4名分をどこで努力できるのかなという話ができるのではとおもいます。

あと、役員に占める女性の割合については、次期中長期計画でも役員に女性が一人はいたらよいなと思います。

(河原企画部長)

管理職が現在森林総研で3名となっていて、7人になると森林総研では達成となることになります。目標設定の段階では森林総研と記載がありますので、それ以上のことに

(吉野総括審議役)

関しては把握できていません。
管理職に占める女性労働者の割合と、管理職に相当する森林総研の職位に占める女性の比率についても質問があったのでお願いいたします。

(永山総務部長)

管理職手当の受給者とは概念が違うと思います。規程の中で管理職と指定されている者のうちどの部分がこの管理職に入ってくるのか手持ちの資料がないため、すぐお答えすることができないのですが、管理職員として定められている者だと思います。

(吉野総括審議役)

詳しいところは別途説明させていただきます。

なお、各部門ごとについては後日内容を確認し、説明させていただきます。

(鈴木監事)

「くるみん」マークは大丈夫でしょうか。

新しくしたということをまだ聞いていないのですがいかがでしょうか。

前のままということでしょうか。

(柳田理事)

「くるみん」は一度認定を受けると、継続されることになっていると思いますが、より努力していかなければならないこととなっています。

(鈴木監事)

森林総研で取ったもので、機構では取得していないのですが大丈夫でしょうか。

(沢田理事長)

「くるみん」については機構として一緒になる際に取得したものですから、大丈夫です。

(柳田理事)

管理職に相当する森林総研の職位に占める女性の比率については、ここで言っている管理職の定義を確認したいと思います。

I－5 森林整備センター職員中途採用試験（令和元年8月1日付け採用）について
※猪島理事から本件の説明が行われた。

(吉野総括審議役)

ほかに質問がないようでしたら、これで令和元年度第6回理事会を終了いたします。次回は9月13日（金）に森林総合研究所で行います。

3. 閉会